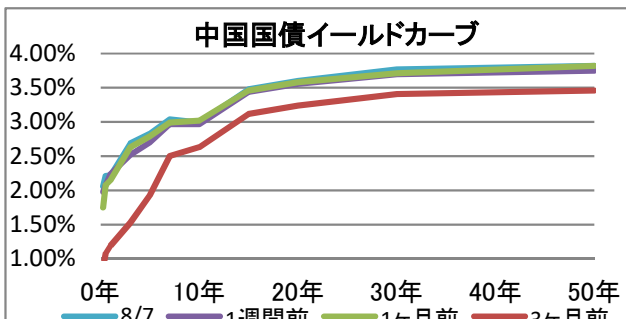
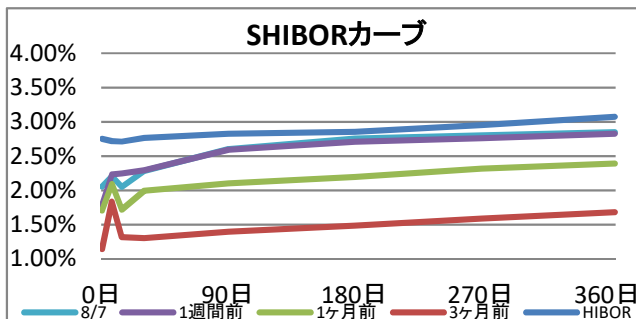


## ①市場概況

基準レート		2020/8/7	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9408	-0.0441
	JPY/CNY	6.5767	-0.0959
SHIBOR	3M	2.6030%	-0.3500%
国債利回り	10年	2.99%	+0.02%
上海総合指数		3,354.04	+44.03



### (1) 概況

米中対立が範囲と内容の厳しさを増す一方で、中国国内経済は経済指標からも回復が確認できる状況が続いており、中国人民銀行の貨幣執政報告においても金融政策については中立調整と中小企業借入コスト引き下げが強調され、同行金融政策委員もカウンターシクリカル調整強化不要との発言により現状の金融政策の継続を示唆している。また、先週末に公表された金融機関の資産管理規制強化の導入延期も金融機関の負担軽減を目的とする現状の金融政策と整合的な政策と評価できるもの。これらにより、株式市場は上昇を維持し、国債利回りも上昇が続き、外為市場では人民元が強含む(ドル安)となった。

### (2) 金融調節

中国人民銀行は、市場内の資金が潤沢な月初とあって、リバースオペ期日2,800億元に対し、新規のリバースオペは金曜日に100億元実施しただけで、2,700億元を吸収している。

### (3) 主な経済指標

- ・財新PMI (7月) は、製造業が52.7 (6月51.2) が小幅に改善する一方で、サービス業が54.1 (同58.4) と前月の10年来の高水準から大きく低下し、総合では54.5 (同55.7) に低下している。外需の弱さと雇用の低調さが懸念材料となっているものの、製造業、サービス業ともに国内需要に支えられた新規受注が増加し、将来見通しに対する企業心理の改善が進んでいる。
- ・貿易収支 (7月) は、輸出が前年比+7.2% (6月同+0.5%)、輸入が同-1.4% (同+2.7%) となり、623.3億ドルの貿易黒字となり、内需の弱さと予想外の外需の強さを示唆するものとなっている。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0570%	1.9500%	2.3000%	
1W	2.2050%	2.2000%	2.5000%	1.8500%
2W	2.0520%	2.0520%	2.6000%	2.0000%
1M	2.2860%	2.3600%	8.0000%	
3M	2.6030%	3.6500%	2.7000%	2.5600%
6M	2.7550%	3.7500%		2.8000%
9M	2.8020%	3.1500%		2.8800%
12M	2.8520%	3.6000%		2.8900%

中国人民銀行は引き続き中立調節を続け、資金需給も概ね安定しているものの、金利水準はじりじりと上昇を続けている。ターム物は、四半期末を越えない1ヶ月の2.20%~2.30%前後を除き出合いは限定的。NCDは、引き続き活発な取引が見られ、金利水準も概ね先週末水準での取引が続いている。1ヶ月が2.15%~2.20%、3ヶ月が2.55%前後、6ヶ月2.80%前後、1Y2.88%前後が取引の中心。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.05%	0.06%
1W	0.10%	0.12%
1M	0.20%	0.22%
3M	0.38%	0.45%
6M	0.60%	0.65%
12M	1.00%	1.10%

投資資金流入を背景に需給は引き続き安定し、金利水準も低位で安定している。ターム物は、1ヶ月が0.20%~0.25%、3ヶ月が0.40%前後で取引され、6ヶ月は0.60%で取りが見られるものの出合いは総じて限定的。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.06%	2.15%	2.60%	2.63%	2.95%
6M	2.21%	2.24%	2.76%	2.78%	3.11%
1Y	2.22%	2.28%	2.91%	2.89%	3.23%
3Y	2.69%	2.77%	3.30%	3.55%	3.95%
5Y	2.83%	3.03%	3.58%	3.88%	4.50%
10Y	2.99%	3.39%	3.80%	4.09%	4.84%

債券市場では、経済回復を示す経済指標や中国人民銀行の貨幣執政報告、更に株式市場続伸もあって先物を中心に弱含む（債券利回りは上昇）展開となった。先物との裁定により中期ゾーンまでの国債利回りが上昇する一方、信用債利回りの上昇は限定的となっている。

イールドカーブは、増発が予定される利率債の利回りが中期ゾーンまで大きく上昇してフラットニングに転じ、クレジットスプレッドは信用債利回りの上昇が限定的となっていることから総じて縮小が続いている。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	33.4 / 33.6
1M	140.0 / 146.0
3M	400.0 / 422.0
6M	810.0 / 825.0
9M	1112.0 / 1139.0
12M	1455.0 / 1472.0

対ドル基準レートは6.9408と前週末比-441pipsのドル安元高、対円基準レートは6.5767と同-959pipsの円安元高と先週に続きドル安を映じた水準での設定が続いた。国内市場でも、米国での経済政策協議難航や米国債利回りの低下を背景にドル安の動きが一段と強まり、3月以来となる6.93台まで人民元が買い進まれている。

先物は、ドル金利の低位安定と人民元短期金利のじり高が続いて拡大傾向が続いており、米中の債券利回り格差拡大を材料とする人民元投資ニーズの高まりもあって、スワップ幅もじりじりと拡大する状況が続いている。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.35%		1.98%
6M	2.39%	2.74%	2.00%
9M	2.41%	2.76%	2.05%
1Y	2.42%	2.79%	2.05%
3Y	2.59%	3.07%	2.05%
5Y	2.74%	3.31%	
7Y	2.88%	3.49%	
10Y	3.06%	3.71%	

短期の基準金利と国債利回りがともに上昇を続けており、スワップ金利も先週に続き上昇している。債券利回りとの金利差のスワップスプレッドは、国債利回りが中期ゾーンまでがやや大きく上昇したことからやや大幅に縮小している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。